

授業科目名 (英文名)	プログラミング (A) (社会情報・専門科目) (Programming I)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	木庭 淳	所属	社会情報科学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	講義目的は、情報科学を知るための基礎となるプログラミングの最も初歩的な部分を、応用範囲の広いPythonを用いて学習することであり、簡単なプログラムを作成し、実行できるようになることを到達目標とする。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>PC教室において講義と演習を併行して行う。講義では、プログラミング技術の習得に必要な知識や概念について、例題を用いながら説明する。演習では、関連するプログラムを多数作成することによって、プログラミング技術の定着を図る。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回 ガイダンス 第2回 簡単なプログラムの実行 第3回 変数や四則演算、メッセージの表示と入力 第4回 演習1：変数や四則演算、メッセージの入出力 第5回 条件分岐 (IF文と論理演算) 第6回 演習2：条件分岐 第7回 演習3：複数の条件や入れ子構造 第8回 演習4：プログラムのエラーとデバッグ 第9回 繰り返し処理 (For文やWhile文) 第10回 演習5：繰り返し処理 第11回 繰り返し処理とリストの利用 第12回 演習6：繰り返し処理とリストの利用 第13回 応用問題 第14回 演習7：総合的な演習 第15回 まとめと発展的話題 評価 (到達度の確認)</p>		
テキスト	クジラ飛行機「ゼロからやさしくはじめるPython入門」マイナビ出版 (生協等で購入する)		
参考文献	湯本堅隆「独習Python入門」技術評論社 クジラ飛行機「実践力を身につけるPythonの教科書」マイナビ出版		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準：</p> <p>プログラミングの初歩的な部分を理解し、自らPythonを用いて簡単なプログラムの作成・実行ができる者に単位を授与する。文法の知識の習得、プログラム作成能力の到達度に応じてSからCまでの成績を与える。</p> <p>成績評価の方法：</p> <p>レポート70%、プログラム作成能力の達成度30% 定期試験は実施せず、授業時間内の課題への取組姿勢とレポートの提出、プログラム作成能力の達成度により評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	社会情報科学部の必修科目であり、全員受講しなければならない。必要と認められれば予復習に相当するような簡単な課題を出し、次回の授業時に提出を求める場合がある。		

実践的教育	該当しない
備考	